



ホテル日航アリビラ

ヨミタンリゾート沖縄

nikko hotels international

Press Release

「報道関係各位」

No. 25-22
2025 年 9 月 29 日
ホテル日航アリビラ

約 10 年ぶりにウミガメの孵化を確認 産卵 119 個中 83 匹が海へ

ホテル日航アリビラ（沖縄県 読谷村／総支配人：中島 浩一）の目の前に広がるニライビーチで、2025 年 8 月 29（金）から 9 月 1 日（月）にかけて、119 個の卵のうち 83 匹の赤ちゃんガメが無事に孵化し、大海原へと旅立ちました。これらの卵は 7 月に発見されたもので、約 1 カ月半にわたりホテルスタッフが見守ってまいりました。



写真提供：Anthony J. Palladino

ウミガメの産卵と孵化が当ホテルの目の前のビーチで確認されたのは約 10 年ぶりのことであり、ホテルとしても自然環境保護の取り組みの成果として、大変喜ばしい出来事となりました。孵化の際には、読谷村でウミガメの保護活動を行う一般社団法人 沖縄沿海保全同友会 OCPA(Okinawa Coastal Protection Alliance)の協力のもと宿泊者を対象とした「ウミガメ調査会」も開催され、専門スタッフによる産卵についての説明や孵化後の卵の殻の確認などを行い、多くのお客様が命の誕生に立ち会いました（左上写真）。

さらに、ホテルでは 9 月 1 日（月）に記念イベントも開催。調査会にご参加いただいたお客様には、当ホテルのウミガメのマスコットキャラクター「アリビー」の形をしたオリジナル絵葉書を配布し「またニライビーチに還ってきてほしいという願いをこめて、ウミガメの赤ちゃんに名前をつけるとしたら？」というテーマで名前の募集企画を実施しました。お客様から寄せられた 28 通の絵葉書には、「ぬーちゃん（沖縄の“命＝ぬち”に由来）」をはじめ、「ニライビー」「ニライ」「アリニラ」といったホテルやニライビーチにちなんだ名前、そして「ダッシュくん」など、赤ちゃんガメの未来を願う名前が集まりました。当ホテルでは、ウミガメをはじめとする海洋生物との共生を目指し、今後も継続的な環境づくりに力を注いでまいります。



アリビラブルーの海とふりそそぐ太陽が創り出す至福の空間

ホテル日航アリビラは、異国情緒漂うスペインッシュコロニアル調の建物が特徴的なオンザビーチのリゾートホテルです。ホテルの目の前は「アリビラブルー」と称される沖縄本島屈指の透明度を誇る海が広がります。厳選食材を駆使したこだわりの料理、多彩なマリメニューやリラクゼーションなど、上質な安らぎが満ちる極上のステイをご堪能いただけます。



本リリースに関する報道関係の方からのお問い合わせ

〒904-0393 沖縄県中頭郡読谷村字儀間 600 <https://www.alivila.co.jp>

ホテル日航アリビラ -ヨミタンリゾート沖縄- マーケティング課 田中 陽子 / 平良 剛

e-mail : tanaka_youko@alivila.co.jp マーケティング課 TEL 098-923-2015 / FAX 098-982-9150